



Chartered April 11, 1998

# THE Y'S MEN'S CLUB OF ASHIYA

President : Masanori Ooiwa Address: 〒654-0013 1-1-5 Ote-cho, Suma-ku, Kobe, Japan  
Mail : herculesbeatles@gmail.com Tel. : 078-737-0850  
URL : [http://www.kobeymca.org/kobe\\_ymca/ys/ashiya.html](http://www.kobeymca.org/kobe_ymca/ys/ashiya.html)

## 主 題

国際協会会長 K.C. Samuel (インド)  
フェローシップとインパクトで次の100年へ  
アジア太平洋地域会長 Shen Chi-Ming (台湾)  
新しい時代とともに、エレガントに変化を  
西日本区理事 田上 正 (熊本むさし)  
原点を知り将来に生かす  
Know the origin and utilize it in the future!  
六甲部部長 若林成幸 (宝塚)  
困難なときにこそYMCAと共に進もう  
Let's proceed with YMCA in difficult times  
芦屋クラブ会長 大岩雅典  
主題 力を合わせて出来ることから始めよう  
Let's start with what we can do together

## 今月の聖句

イエスは言われた。「婦人よ、なぜ泣いているのか。だれを探しているのか。」

<ヨハネ福音書 22:15>

## 4月第1例会

と き: 2023年4月19日(水) 19:00~21:00

と ころ: ホテル竹園芦屋 (敬称略)

司 会: 福原吉孝ワイズ

- |                       |          |
|-----------------------|----------|
| 1. 開会点鐘               | 大岩雅典会長   |
| 2. クラブソング             | 斉唱 一同    |
| 3. 聖書朗読               | 羽太英樹ワイズ  |
| 4. ゲスト・ビジター紹介         | 大岩雅典会長   |
| 5. 食前感謝               | 島田 恒ワイズ  |
| 6. 会食・歓談              |          |
| 7. メンバー'sスピーチ         | 坂本孝司担当主事 |
| 「留学生のお話」& 新任担当主事の紹介   |          |
| 8. 事務報告               | 大岩雅典会長   |
| 各事業委員報告 各事業委員         |          |
| 9. YMCA報告             | 坂本孝司担当主事 |
| 10. ニコニコ報告            | 坂東幸子ワイズ  |
| 11. 誕生日祝い             | 大岩雅典会長   |
| 大岩雅典・島田 恒・福原吉孝 (各ワイズ) |          |
| 大岩恵美・崔 和子 (各メネット)     |          |
| 10. 閉会点鐘              | 大岩雅典会長   |

会 長 大岩雅典  
直前会長 大岩雅典  
副 会 長 山口光一・福原吉孝  
書 記 柏原佳子・上野恭男  
会 計 羽太英樹  
監 事 上野恭男  
担当主事 坂本孝司  
六甲部広報委員長 大岩雅典

# 4

Apr., 2023  
310号

## 『ワイズの桜』

大岩 雅典

国際ワイズ100周年記念行事として行われました六甲部での桜の木の植樹今年2月に3本目の木が植えられました。しあわせの村、生田川公園、そして東遊園地、神戸YMCAを囲む三角形で、植えられました。寒の戻りで未だちょっと寒かった、3月下旬桜の咲き具合を見てまいりました。生田川公園はすぐ近くまで行けましたので良くわかる画像があります。



ですが、東遊園地はリニューアル工事中

でしたので側まで行くことは叶わず、柵越しの望遠撮影となりました。両方ともしっかり咲いてくれていました。しあわせの村の桜は、神戸西の加茂さんから「開花してます」とご報告いただきました。ワイズの桜は3本とも元気です。

芦屋ワイズメンズクラブもそれにあやかって元気に進んでいきたいと思ひます。

## 3月例会集計

第1例会出席メンバー		例会出席率		BF切手 累計 gm
15名	1名	出席者	15名	
メネット	1名	メイクアップ		
コメット		合計	15名	
ビジター	2名	在籍者	17名	
ゲスト	1名	(内広義会員1名)		
合計	19名	出席率	93.8%	
				ニコニコ 累計 11,650円
				累計 108,310円

## 3月第1(メネット)例会報告

日時：3月15日(水) 18:00～21:00

場所：ホテル竹園芦屋 (敬称略)

参加者：大岩雅典会長・上野恭男・柏原佳子・桑野友子・島田 恒・堤 清・中島かおり・中山豊美・羽太英樹・濱瀬真知子・坂東幸子・福原吉孝・増田知子・山口光一(各ワイズ)・坂本孝司担当主事、

ビジター：大野 勉・大野智恵(神戸ポートクラブ)

ゲスト：櫻井啓子(ゲストスピーカー＝リモート参加)・奥田実

3月14日ホテル竹園芦屋3階宴会場で行われたメネット例会は、大岩恵美メネットの司会。開会点鐘は大岩雅典会長、クラブソング斉唱の後、羽太英樹ワイズの聖書朗読、食前感謝は上野恭男ワイズに行っていました。今回のメネット例会では東京よりオンラインによる卓話を櫻井啓子様に行なっていました。

テーマは「思い出のランドセルギフト」です。櫻井啓子様はフランスでシャネル社退職後、国際協力 NGO「ジョイセフ」の理事で現在活動されておられます。



「思い出のランドセルギフト」は、役目を終えたランドセルをアフガニスタンの子どもたちに寄贈をする活動です。しかしながら、アフガニスタンでは未だに教育の機会に恵まれない子どもたちがいます。特に女の子にその機会が与えられる為にもこのランドセルの寄付が子どもたちの夢を膨らませます。アフガニスタンでは、「女子は学校に行かなくても良い。」という意識が強く、学校に通っていない女の子がまだまだ多いのだそうです。

使い終わったランドセルをどうするのかはどのご家庭でも悩むところ。そんなランドセルが別の国で次の役割を得るのは、使ってきた子どもたちも喜びを感じ、また世界の情勢にも興味を持つきっかけとなっています。2004年から続くこの支援のお話を初めてお聞きし、世界にはまだまだ沢山の支援を必要としている場所があると感じました。

このランドセルを送るためにはもちろん輸送費も大きな問題で



す。ランドセルだけでなく、その支援も募らなくてはなりません。今回はそんなジョイセフの協力への理解が深まった会でした。櫻井啓子様には、東京からのオンラインによる卓話でしっかりと思いを伝えていただきました。

そして、YMCA報告の後、アピールタイムで山口ワイズ、中島ワイズに統一地方選へのお話を聞き、ニコニコ報告、誕生日お祝いと続き、大岩雅典会長の閉会点鐘となりました。

メネット会長 大岩恵美

## 六甲部評議会報告

3月18日(土)神戸 YMCA において六甲部評議会が開催された。定足数確保がギリギリで芦屋クラブにも参加要請が入り、坂本連絡主事が予定を曲げて参加していただき7名で出席期待に応えることができた(ギリギリはちょっと寂しいね)。開会点鐘に始まり、中間期における若林部長から活動報告・長尾会計から会計報告がありました承された。

さらに6つの委員会から事業活動の報告、7つのクラブからも報告が続き、わが芦屋クラブからは大岩会長が報告に当たった。

全体的にはコロナの影響があり、期待された活動が十分には果たせなかったという反省が感じられ、コロナが緩和傾向にあり、これからの残された期間への活動が望まれるという報告が前向きな期待となっていた。この間、ワイズに貢献された山口政紀メン・山口徹メンの召天に黙祷が捧げられた。

次いで2つの協議事項が提出され、若干の討議の後可決された。井出次期六甲部長の方針・計画が発表され閉会となった。その後、場所を三宮「ロイン」に移し懇親会が賑やかに持たれた。アルコールが入って泡吹く談笑、コロナを忘れて恒例の活力が戻ってきた。芦屋組も全員参加して料理・アルコール・交流を存分に楽しむことができた。



## 懇親会は楽しかった！

第2回評議会は久しぶりの対面で開催され、心待ちにしていた懇親のときを迎えました。

YMCA からテクテク歩いて三宮へ向かいます。神戸国際会館まへの「ロイン」が会場でした。地下に降りて店に入るとほゞ貸し切りで、いい雰囲気です。評議会に参加された42人は無理としても、たくさんのお顔が見えました。



大野元理事と  
鶴丹谷次々期理事

フリードリンクで料理も良く、久しぶりの宴席に3年前に戻った感でした。やがて、アピールタイムがあり多くの情報をいただきました。

まったく見たことのない方が数名居られ、対面で交流をしていなかった3年間を想い、ワイズの交流は対面でなければいけないと強く思いました。

懇親会を終え、電車を降りる時まで楽しい交流が続き嬉しく思いました。

上野恭男



## メネットの集い ジェンダーについて学びました

3月14日(火)、「メネットの集い」が、神戸クラブ例会として神戸YMCAで開催されました。

講師には、ロニーアレキサンダー先生(神戸大学大学院、国際協力研究科名誉教授)を招かれ「ジェンダーについての一般論—平和学の点から—」を取り上げての講演でした。

ロニー先生は、「ポーポキ友情物語」、可愛い猫のイラストで—東日本大震災により生まれた私達の平和の旅—を執筆されています。今回改めて本棚から小さな絵本を取り出しました。



平和—それは寄り添うことから始まる—と結ばれています。ひさしぶりにポーポキと出会いました。この機会に少し勉強を致しました。

今回のテーマはザクツツと言えば女性を取り巻く環境、解決すべき世界の課題の背景には、ジェンダー(社会的・文化的につくられる性別)に基づく偏見や不平等があるといわれています。

毎年3月8日は、国連が定めた「国際女性デー」です。これは、女性に対する差別撤廃と、社会生活への完全で平等な参加に向けた環境整備を目指していくことを目的に定められました。

世界には教育が受けられず、読み書きや計算が出来ない女性がたくさんいます。途上国の女性の家事労働時間は非常に長く、女性への大きな負担になっています。若年妊娠や、望まない妊娠は、母体や胎児の身に危険が伴います。女性や少女がその被害者になりやすい人身取引(トラフィッキング)など、女性に対する暴力も存在します。

ジェンダーによる男女の差別を解消し、個々の能力が活かされ、安全で安心して暮らせる社会を作っていくことは世界共通の課題だと学びました。



メネットの集いには神戸クラブの多くのメネットが参加され懐かしい方とお会い出来嬉しく思いました。芦屋クラブからは大岩会長・恵美メネット・桑野ワイズ・柏原ワイズの4名が参加しました。

例会の最後に神戸クラブ美崎晋会長の「だけどやっぱり看護師さんは、綺麗な女性のほうが嬉しいな！」と結ばれ笑いが広がりました。ポーポキが絵本から飛び出しました。

柏原佳子

★3月号のエッセイ「ワールドサッカーフランス対モロッコ」の後半をお楽しみ下さい。

### 「セピア色の思い出」

■さて【モロッコ】と言えば懐かしいアメリカ映画を思い出す。この【セピア色の思い出】は多分、皆さんの何人かはご存じであろう。あの米国映画【カサブランカ】(1942 作品・白黒)である。多感な高校生の頃(早すぎるかな?)に友人と観た映画の一つである。



◆【モロッコ】に存在する霧深い都市【カサブランカ】の空港で【ボルサリーノ】(イタリアの男性用帽子メーカー)にトレンチコート姿の名優【ハンフリー・ボガード】の出で立ち当時の男達の

溜飲を下げたものだった。と言われていた。そして共演者は私の大ファンで大きな日差し帽が似合う、あのスウェーデン出身のオスカー3度・絶世の美人女優【イングリット・バーグマン】だった。◆ヨーロッパでは、ドイツの侵略が拡大すると多くの人達はアメリカを目指していた。第二次世界大戦のさなかパリで知り合ったアメリカ人で【カサブランカのバー経営者】リック(ボガード)とフランスからアメリカに亡命を計るパリ時代の彼女・イルザ(バーグマン)との哀愁の物語である。▼【カサブランカ空港】はアメリカへの中継地として重要な役割を持っていた。この映画の空港での【離別の場面とセリフ】が全て素晴らしく数々の名言が残っている。★【君の瞳に乾杯!】の名セリフが誕生したリックのバー。そして『あの二人だけに通じる』ジャズポカルの定番★【AS・TIME・GOES・BY】(時の過ぎ行くままにも……)。その他、大人の男女の会話として『昨日は何処に?』★『そんな昔の事は覚えていない』『今夜は会えない?』★『そんな先の事は分からない』等。わざと素っ気ない『リックの心情』も。時には★【男同士の友情】もそれとなく格好良く。忘れられない【セピア色の思い出】だった。

篠坂幸彦

### 芦屋川さくら祭り

4年ぶりの桜まつりでしたが、4月2日(日)の1日だけの開催との情報で、今年は不参加としました。

出店費用も割高、準備が大変な割には売上げが見込めない、メンバーの中には選挙活動で参加出来ない、等々の理由です。今年は全国的に桜の満開時期が早く、芦屋川も満開、随分前でしたが桜はつぼみ、寒くてダウンジャケットを着込



んでチヂミを焼いた日も懐かしいです。

来年こそは参加、地域の交流とファン作りをしたいですね。

桑野友子  
(ファンド委員)

## 「聖句 読み解き」

イエスが十字架に架けられ死んで墓に葬られて3日目、日曜日の早朝、イエスを「先生」と愛していたマグダラのマリアが墓にやって来たところ横穴式の墓の入り口の石が取りのけてあり、中は空っぽ。誰かがイエスを取り去ったのだ、なんとひどいことを。彼女は失望落胆の涙を流していた。その時イエスは彼女の背後からこの言葉を投げかけて来た。彼女は振り返ったがその声を発した者がまさかイエスとは思わず墓守の男だと思った。それはそうだろう。死んだ者が生き返ることなど絶対にあり得ないことだから。この時、イエスは更に『マリア』と声をかけた。名を呼ばれて彼女はハッとした。そしてあらためてそれがイエスであることがわかり思わず「先生」と声をあげた。死んだはずの先生が今、生きて目の前に立っている。大変な驚きは泣き悲しむ彼女を渾身の喜びへと変える。復活とは肉眼には見えない霊的姿において存在することである。「だれを探しているのか。わたしならあなたの真ん中にいるよ。もはや泣くことはないよ。これからはいつもわたしがあなたと共にいるから。キリスト教はこの確信の上に立ちスタートし、イエスが今も生きて共にいてくださる存在だと信じるのである。

(河合裕志著「イエスの言葉100選」より)

## 3月第2例会議事録

場所： 芦屋市民センター204号室

日時： 3月22日(水)19:00~20:30

出席： 大岩会長、上野、柏原、桑野、島田、羽太、坂東、山口、坂本担当主事

## ◇ 例会について

- ・4月19日は坂本担当主事の「留学生」の話を書く。
- ・5月17日は芦屋のワインショップの細谷さんの話。国産、海外のワイン飲み比べなど。
- ・6月21日は絵葉書による神戸の歴史の話。石戸信也氏。

## ◇ 2月会計報告を了承。羽太会計

## ◇ 3月18日の第2回六甲部評議会、大岩会長より報告。

## ◇ 6月10日熊本で開催の西日本区大会は、大岩会長欠席につき、柏原書記が代行を務める。上野、柏原、桑野、増田各ワイズが申し込み済み。メンバーの参加を呼び掛ける。また、参加者にクラブより補助金20,000円を決定。

## ◇ 中島かおり、山口各ワイズの市長、市議選にクラブより各献金20,000円決定。

## ◇ YMCA報告 ホテル学科の生徒の就職、新学期の入学希望者など好調。

4月から坂本孝司より横山徹太郎に芦屋クラブ担当主事交代。以上

文責 上野恭男

編集後記：3月はWBCで盛り上がりました。東京ドームでの開催は時差もなく、対戦チームの実力からいっても安心してTV観戦。フロリダでの準決勝・決勝はハラハラドキドキでした。大谷の決勝戦でのスピーチも素晴らしい！昨年のワールドサッカーに続きスポーツは最高！！ゴルフでもラジオ体操でも続けましょう。 桑野友子

## ■ 神戸 YMCA 学院専門学校卒業式

去る3月9日に、2022年度神戸YMCA学院専門学校(日本語学科・ホテル学科)の卒業式が行われました。卒業生たちは、コロナ禍に入学をしてきてくれた学生たちです。2年間、1.5年、1年とそれぞれの学校生活においては、様々な制限の中で学業に取り組んで参りました。入学式は、オンラインだった学生もいました。



今回の卒業式では、ホテル学科25名、日本語学科36名の学生が全ての過程を終了し、卒業しました。3年ぶりに式典後の茶話会や卒業生を送る会を実施することができました。卒業生たちは、これからそれぞれの場所に進んでいきます。コロナ禍での学校生活を最後までやり通した経験を活かし、神戸YMCAの卒業生として活躍してくれることを信じています。

## ■ 神戸 YMCA 学院専門学校日本語学科 卒業旅行

神戸YMCA学院専門学校日本語学科では、3月3日に、恒例の卒業旅行に行きました。京都の嵐山や竹林、清水寺。クラスの先生や友達と一緒に、散策やおいしいものを食べて、楽しみました。教室で、日本語を学ぶこともとても大切ですが、



日本のいろんなところを出かけて行って、実際に見て、感じることも、日本語を学ぶ上でとても大事なことです。コロナ禍ではできなかった卒業旅行。卒業を前に、クラスのみんなどの忘れられない思い出がたくさんできました。

## ■ 神戸 YMCA 学院日本語学科 スピーチコンテスト

本年度も、芦屋ワイズメンズクラブのご支援を受けて、恒例のスピーチコンテストが開催されました。コミュニケーション学院との合同で開催され、両校の計17名の学生がスピーチを披露しました。自国と日本の文化の違い、日本に来てから感じたことや感銘を受けたなど、いろんなテーマについて自分の考えを述べました。スピーチの内容は、思わず「うんうん」と頷く内容で、みんなこれまでの練習の成果することができました。

## ■ 今後のスケジュール

<神戸YMCA創立記念礼拝>

【日時】2023年5月13日(土)15:00~16:30

【場所】神戸YMCA三宮会館チャペル

【メッセージ】神田 健次 先生(関西学院大学名誉教授)

<神戸YMCA大会>

【日時】2023年6月24日(土)

【場所】神戸YMCA三宮会館

内容につきましては、改めてご案内いたします。

担当主事 坂本孝司